

《単元の指導計画》

3年社会科（公民的分野）：全5時間

授業日時	学習内容	学習活動
11/15 (火) 8:55～ 9:45	○くらしと経済 ・企業を通して経済を考える	・経営者の視点から消費者の消費行動について考えることで、生活と経済との関係、経済活動における限られた資源の選択について気づく。
11/16 (水) 13:25～ 14:25 公開授業	○くらしと経済 ・消費者として経済を考える	・20～30歳代のライフプランづくりを通して、生活設計とマネープランを体験する。 ・将来の家計の支出を予測し、検討することで、収入と支出のバランスとより良い消費生活の在り方について考える。
12/13 (火) 10:35～ 11:25	○くらしと経済 ・企業と家計をつなぐ金融①	・金融機関の代表である「銀行」の三大業務について理解する。
12/14 (水) 14:10～ 15:00	○くらしと経済 ・企業と家計をつなぐ金融②	・銀行の預金と貸出業務（資金仲介）が、経済活動の発展に寄与していることを理解する。
3/2 (木) 10:15～ 11:05	○まとめ ・講師派遣授業	・金融経済教育授業のまとめとして、銀行員から銀行業務や仕事のやりがいなどを聞く。

《指導案》

1 時間目 学習展開

(1) 本時の目標

- ・ コンビニエンスストアの経営者の視点から、消費者の消費行動について考え、生活と経済の関係を理解する。

(2) 展開

指導過程	学習内容と活動	指導上の留意点
導入	○経済の授業の入り口として、生徒にとって身近なコンビニエンスストアを例に挙げる。	・ 経営者の視点に立ち、どのようにしてコンビニエンスストアの利益を出していくのかについて考えることを伝える。
身近なコンビニエンスストアから、生活と経済との関わりについて考えてみよう。		
展開	<p>○コンビニエンスストアの立地を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図 A～E のどこにコンビニエンスストアを開店するか、個人で考え選択する。 <p>○コンビニエンスストアの立地を再選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの立地に開店するか、班で話し合い決定する。他班に結果を共有する。 <p>○コンビニエンスストアの売り上げを伸ばすアイデアを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立地と関連付けながら、各班で売り上げを伸ばすアイデアを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各立地 (A～E) の周辺から、どのような買い物客が来るのか予想するよう促す。 ・ 教科書記載の資料も活用しながら、各班で意見をまとめるよう伝える。 ・ 立地以外にも、どのような工夫が出来るのか、経営者・消費者の両者の視点から考えられるようにする。
まとめ	○生活と経済の関係について	・ 次時は、自分自身の人生で起こりうる選択とお金との関わりについて学ぶ旨を伝える。

2 時間目 学習展開

(1) 本時の目標

- ・20～30 歳代のライフプランづくりを通して、自らの生活に必要な選択とお金との関わりについて考えることができる。

(2) 展開

指導過程	学習内容と活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習内容について振り返り ・コンビニ経営者の視点から、経済活動について理解できたことを確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この後の取組みを、4人1班で行うことを伝え、班長を中心に班の意見をまとめるように指示する。
将来の生活を疑似体験することで、自分とお金との関わり方について考えてみよう。		
展開	<p>「生活設計・マネープランゲーム体験」 (20～30 歳代)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○20 歳代の人生体験を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「収入」「基本生活支出」「自動車の購入」を体験する。 ○30 歳代の人生体験を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「結婚」「子育て」「住居」「自動車」「保険」「イベント&アクシデント」を体験する。 ○人生体験のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・貯蓄額・思い出ポイント・人生のタイトルを決めて発表。他班の結果を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収入カードの「仕事の特徴」、基本生活支出カードの「生活の特徴」についても確認をするように指示を出す。 ・ライフイベントとそれらにかかる費用について、ローン、保険の仕組みや役割について理解ができるようにする。 ・「人生の選択」「お金との関わり」についてを軸に、班ごとにまとめを進めるよう促す。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○人生体験のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・他班の結果と比較しながら、選択の違いによって、人生設計やお金との関わり方が大きく変わることに気づく。 ○ゲームに関連する重要単語の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・家計・収入と支出・非消費支出・貯蓄 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の体験を踏まえ、将来の生活設計について、お金との関わり方について、自分ごととして考えられるよう指導する。

3 時間目 学習展開

(1) 本時の目標

- ・銀行の三大業務を通して、金融の仕組みや働き、日本銀行の役割を理解する。

(2) 展開

指導過程	学習内容と活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○金融という言葉の意味を理解する。 ・お金を融通する＝金融 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の代表である銀行と自分たちの生活との関わりについて考えることを伝える。
金融機関の代表である銀行は、どのような仕事をしているのだろう		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○銀行の三大業務について知る ・動画で学ぶ銀行の仕事 ・金融機関の代表である「銀行」は、「預金」と「貸出」の業務から利益を得ていることを理解する。 ○日本銀行の3つの働きを理解する。 ・物価の安定、景気変動の調整 ○「日本銀行」と「銀行」の関係 ・日本銀行は最後の貸し手の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD「動画で学ぶ銀行の仕事」 ・貸出金利と預金金利の差額が銀行の利益になっていることを説明する。 ・ワークシート「金融のしくみと銀行の役」割で、理解を深めさせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○社会における銀行の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、本時の内容をふまえ、社会における銀行の役割について考えることを伝える。

4 時間目 学習展開

(1) 本時の目標

- ・銀行の資金仲介機能により、経済活動の発展に寄与していることを理解する。

(2) 展開

指導過程	学習内容と活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返り ・「預金」と「貸出」の関係について →銀行はお金の橋渡し役であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を振り返り、銀行がお金の橋渡し役であることを確認する。
銀行は社会にとって、どのような役割を果たしているのだろう？		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○銀行の貸し出せる資金が不足するとどうなるか考える。 →ローンが組めないで家を買えない 企業の活動がにぶくなる ○貸出を受けた個人や企業は、どのようなことができるのか考える。 →企業：人を雇う、新たな商品開発 個人：新たな商品の購入 など ○社会における銀行の役割を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えが出にくい場合には、「お金を借りた個人や企業は、どんなことができるか」を考えるよう促す。 ・銀行がお金の橋渡し役になることで、社会の豊かさを支える大切な役割を担っていることに気づかせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活設計・マネープランゲーム」、「あなたと銀行のかかわり」を活用した授業を振り返り、感想などまとめる。 	